

よくわかる!

市町村財政分析基礎講座

新型コロナのもとでの、初めての
予算編成方針が行政から提起されます。
議会はどのように対応すればよいかを
考えます。

講座の特徴

自治体の財政を学ぶことは、自分たちの自治体の課題をトータルにとらえる力、そのために考える力や能力を養うということです。自分たちのまちを自分たちで考えるために、自治体の財政を知ることは不可欠です。

当講座では、自治体財政の一般論ではなく、ご自分の自治体の財政状況を知るための方法を学ぶことができます。

「財政は苦手…」という方も、「習うより慣れろ」の大和田流財政分析法なら、繰り返すことにより、理解が進みます。まずは、初めの第1歩を!

新型コロナウイルス感染防止のため、研究所事務所にて、小規模・少人数での開催!

- ◆日時 ① 2021年1月13日(水), 14日(木)
② 2021年2月8日(月), 9日(火)
- ◆時間 1日目 13時~19時30分 2日目 9時15分~15時
※①②とも同じ(時間のある方は、2日目終了後、16時頃まで質疑や演習が可能です。)
- ◆会場 財政デザイン研究所(東京都日野市神明3-10-5 エスプリ日野)
JR中央線 日野駅より徒歩7分、東京駅一日野駅は快速で約55分
- ◆講師 大和田 一紘(NPO法人多摩住民自治研究所理事)
- ◆受講料 27,000円(税込、以下同様)
【割引】・再受講 25,000円 ・町村議員 24,000円
・多摩研会員 22,000円 ・多摩研新規入会 21,000円※
※「多摩研新規入会」の方には別途、年会費(12,000円)をいただきます。
- ◆宿泊 宿泊は、各自でお手配ください。
(お申込みをいただいた方には、立川駅周辺、日野駅前のホテル等案内を送付いたします。)
- ◆テキスト 『四訂版 習うより慣れろの市町村財政分析』
(大和田一紘・石山雄貴 著、2,750円、自治体研究社)
- ◆申込方法 右記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはe-mailでお申込み。
または、下記URLにアクセスし、お申込みフォームよりお申込み。
http://www.tamaken.org/?page_id=1281

- ◆ご自分の自治体の財政状況を把握するためには、自治体財政の概論をいくら学んでもなかなかわかりません。ご自分の自治体の財政状況を知るための方法を丁寧に解説します。
- ◆総務省が公表している各自治体の「決算カード」や「財政状況資料集」の読み方を学びます。自治体財政データの見方の基本を習得します。
- ◆ご自分の自治体の実際の財政データを使用し講義を進めるので、学びながら、ご自分のまちへの関心が広がっていくプログラムです。
- ◆講師の他にベテランのアシスタントがいるので、小さな疑問や不明な点も、気軽に質問でき、フォローが充実しています。

2021年1月・2月 市町村財政分析基礎講座 申込用紙

■受講日 いづれかにチェックを入れてください。
 ①1月13・14日 ②2月8・9日

■氏名

■領収書宛名 ※政務活動費をお使いの方は正確にご記入ください。

■住所 〒

■電話

■FAX

■携帯電話

■e-mail

■テキスト事前購入 希望する 希望しない

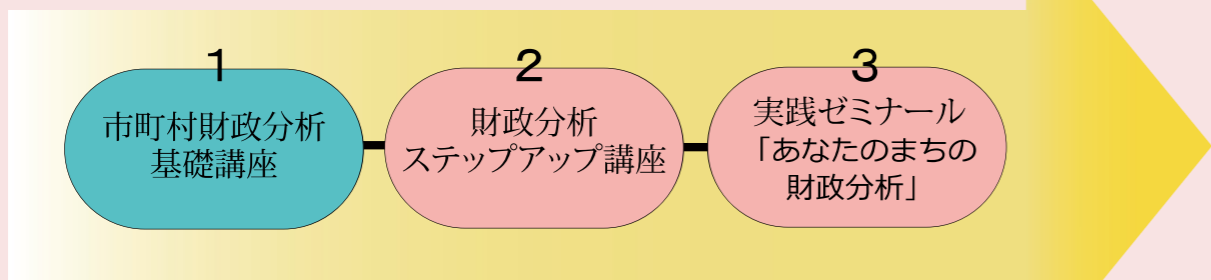
■割引 (該当するものに複数チェック) 再受講 町村議員 当研究所会員 当研究所新規入会

■当研究所の催し等の案内 e-mail 郵送 FAX 希望しない

NPO法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 エスプリ日野103
Tel:042-586-7651 Fax:042-514-8096 E-mail:tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp
URL:<http://www.tamaken.org/>

最終的には— ご自分の自治体の財政状況を、各種データをわかりやすくまとめることにより、説明ができるようになることを目指しています。



ご自分のまちの財政状況をわかりやすく説明できるように！

1. 市町村財政分析基礎講座（このチラシの講座です）

ご自分の自治体の財政状況を把握するために、主に総務省が公表している決算カード、類似団体比較カードや財政状況資料集のどこに何が記載されているのかを学習します。

2. 財政分析ステップアップ講座

基礎講座で学んだことを基に、ご自分の自治体の財政データを長期的なスパン（約10年程度）で捉えることにより、ご自分の自治体の財政状況の分析方法を学びます。

3. 実践ゼミナール「あなたのまちの財政分析」（少人数制）

1と2の講座で学んだことをベースに、実際にご自分の自治体の財政状況を発表してもらいます。アウトプットすることにより、より理解が深まり、また相手に伝わりやすい方法を学びあいます。

●講師プロフィール● 大和田 一紘（おおわだ いっこう）



1943年、青森県弘前市生まれ。北海道立札幌南高校卒。東京学芸大学大学院教育学研究科修了。東京都自然環境保全審議会委員を6期12年、東京都環境科学研究所研究員、中央大学社会科学研究所客員研究員、埼玉大学と法政大学などを歴任。現在、NPO法人多摩住民自治研究所理事、多摩学会と日本環境学会に所属、専門は環境教育、環境政策、まちづくり論、地方自治、地方財政。また『日経グローバル』2012年4月2日号～2016年6月20日号に、「実例で見る自治体財政」を連載。著書『習うより慣れろの市町村財政分析』（単著）、『市民による市民のための合併検証』（編著）、『広域連合と一部事務組合』（共著）、『市民が財政白書をつくったら…』（編著）、『財政状況資料集から読み解くわがまちの財政』（共著）他多数。

お申込から受講までの流れ

1. 講座の申込

FAXまたはE-mailにて、お申込ください。電話では受付を行っていません。

2. 受講のご案内

「受講のご案内」と郵便局での払込用紙をご送付いたします。10日以上たっても届かない場合は、お問合せください。

3. 受講料等のお支払

ご指定日までに指定の郵便振替口座（振込手数料当方負担）または銀行口座（振込手数料各自ご負担）に受講料等をご入金ください。詳細につきましては、お送りする「受講のご案内」をご参照ください。

4. ご宿泊のお手配

各自、ご宿泊先をお手配ください。ご参考までに、受講案内と共に立川駅周辺、日野駅前のホテル一覧をお送りします。

5. 資料のご準備

「受講のご案内」の「持ち物」に記載してある、ご自分の自治体の各種資料をご用意ください。

6. ご受講

日時、会場等をご確認の上、直接お越しください。ご欠席される場合は、必ずご連絡ください。

市町村財政分析基礎講座カリキュラム

第1講 13:00～14:00

決算情報をいかに予算審議と連動させるか — 誰でもできる財政分析

9月の定例議会は決算という情報の宝庫を使って、来年度の予算に連動させた質疑に展開できたでしょうか。9月議会の成果が10月以降の住民向けの広報（わがまちの財政のあらまし）に反映するのです。改めて決算情報とは何か、その活かし方に言及します。

地方分権一括法の施行（2000年4月）後、決算カードを中心に財政情報の開示を第1ステージとすると、昨今の財政情報は第2ステージに入ったといえます。「類似団体比較カード」はじめ「地方交付税算定台帳」や「財政状況資料集」の開示を中心とした新たな段階に入ってきました。どんな社会的統計にも代表的な4つの財政指標として「財政力指数」と「経常収支比率」の他に「実質公債費比率」と「将来負担比率」が定着しつつあります。

第2講 14:15～15:45

市町村のふとこは — 歳入の仕組みを考える

市町村の歳入の仕組みを学び「入るを量って出づるを制す」の意味を考え、更に分権にふさわしい歳入の仕組みのあり方を示します。

第3講 16:00～18:00

議会・市民から見た税金の使われ方 — 歳出の仕組みを考える

歳出の分析を通して首長の政治姿勢や政策を学び、新しい住民ニーズに見合った歳出のあり方、土木・投資型（ハコもの）行政から安心・安全、環境、教育、福祉型への転換を考えます。

第4講 18:15～19:30

様々な「財政指標」の見方・読み方・使い方

市町村の財政分析に際しては、様々な「財政指標」がもちいられます。専門的な財政情報に戸惑っているのでしょうか。貴自治体の数字の読み方を学び、議会での生かし方を考えましょう。

第5講 9:15～12:00

類似団体比較カードと財政状況資料集のイロハ

類似した条件にある自治体の財政を比較することで、自らの財政運営の特徴を容易に捉えることができます。その第一歩が類似団体比較カードの入手です。その入手方法や使い方を知れば、自治体の財政運営の改善の手がかりになります。類団カードを応用し、まとめたものが財政状況資料集13ページ綴りで次年度はもっとボリュームのある綴りの充実をはかる予定。指標だけでなく、自らの自治体の財政状況に関する財政課のコメントも掲載されています。それらを手がかりに自治体財政運営の真実を読み解く力を養います。

第6講 13:00～14:30

地方交付税制度の基礎の基礎 ～臨時財政対策債にも触れて

地方交付税制度を難しくしているのは、普通交付税、基準財政需要額、基準財政収入額、標準財政規模、財政力指数と一体的にとらえることに他なりません。また、臨時財政対策債が実質的な交付税であり、同時に地方債である意味をわかりやすく説明してみませんか。

第7講 14:30～15:00

当面の自治体財政の課題

中枢連携都市や公共施設マネジメント計画等の当面の自治体財政の課題にふれます。また、最終講座である実践ゼミナールで作成した先輩方の成果物をご紹介します。

時間割	1日目		2日目	
	第1講	13:00 ~ 14:00	第5講	9:15 ~ 12:00
第2講	14:15 ~ 15:45	昼食	12:00 ~ 13:00	
第3講	16:00 ~ 18:00	第6講	13:00 ~ 14:30	
第4講	18:15 ~ 19:30	第7講	14:30 ~ 15:00	